



ガジャマダ大学

(インドネシア共和国)

(Gadjah Mada University)

交流協定締結年月日：2013年1月31日 主管学部：農学部



交流協定調印

副学長Dr. Dwikorita(Rita)(左), 農工学部部長Dr. Lilik(中央)



正門からの写真

国際交流の特色(大学紹介)

インドネシアで最も古く、最も大きな大学で、1949年に国立大学として設置され、中部ジャワ地域の高等教育の中心的役割を担っています。文化遺産が数多く残る歴史的な都市、かつ学園都市として有名なジョグジャカルタに位置する総合大学です。ガジャ・マダ大学(英語: Gadjah Mada University、公用語表記: Universitas Gadjah Mada、UGM)は、18の学部を持つ総合大学で、学生約5万5千名と教員2,500名が在籍し、留学生も約1,200名学んでいます。校名はマジャパヒト朝の宰相を務めたガジャ・マダに由来しています。

交流実績(平成25年度～27年度)

年度 受入・派遣	平成25年度	平成26年度	平成27年度
学生の受入	3	5	5
学生の派遣	0	5	4
研究者・職員の受入	0	0	3
研究者・職員の派遣	3	0	2



教員からの声

香川大学は2012年秋から教職員や学生のグローバル化を加速化するため、愛媛大学、高知大学と共同してガジャマダ大学を含むインドネシア3大学とSUIJIコンソーシアムを形成し、サービスラーニングプログラムの開発を開始しました。農学部学生を中心に学生の派遣と受入れが今後5年間活発化する予定です。サービスラーニングとは、自主的に実習、演習、奉仕活動に参加し、自主性と計画性、協調性などを学ぶプログラムであり、ガジャマダ大学と香川大学は食材の生産や食品の製造、加工、安全に関する実習を行う拠点となります。学生の主体的な参加を待っています。

農学部教授 田村 啓敏

留学生からの声

大学があるジョグジャカルタは、ボロブドゥール遺跡、ムンドゥッ寺院、パオン寺院やプランバナナ寺院群(いずれも世界遺産)などがあり、古くからの歴史がある有名な観光地です。また、インドネシア伝統のろうけつ染めバティックの本場としても知られています。さらに、グドゥッやバキピアなどインドネシアのオリジナルフードも満喫できます。ジョグジャカルタは、インドネシアの教育の中心地で30万人も学生がおり、学生の街とも呼ばれています。平均気温は26℃前後で年間を通じてほぼ変わりません。是非、UGMに学びにきませんか？

SUIJI-JDP Lucia Sinta Triosanti
食の安全特別コース Arum Baasithu

ガジャマダ大学

(Gadjah Mada University)

ホームページ <http://www.ugm.ac/id/>

●学部学生

約55,000人

●教職員

約4,500人

●留学生

約1,190人